

新技術で水田をフル活用する

農地集積による大規模化が進む中、生産性をさらに高めていくには、新技術導入によって水田をフル活用していく必要があります。
これからの水田農業で生産性と収益性を向上させていくにはどうしたらよいか、考えます。

「水田輪作新技術プロジェクト」 キックオフフォーラム

2025年

12月11日(木) 13:30~16:45

会場：つくば国際会議場 中ホール300（茨城県つくば市竹園2丁目20-3）

参加無料

会場/
オンライン配信
(事前申込)

- ◆ 12:30 開場・受付
- ◆ 13:30 開会
- ◆ 13:30
基調講演
- ◆ 13:50
講演
- ◆ 15:45
パネル
ディスカッション
- ◆ 16:45 閉会

基調講演

高収益水田輪作を実現する
省カスマート技術パッケージの
開発・導入

パネルディスカッション

水田フル活用に
必要とされる技術とは何か
生産者・企業など有識者4名が
各分野の視点から熱く議論！

講演

選りすぐり新技術の紹介

招待講演

- たまねぎの直播栽培技術

一般講演

- 「にじのきらめき」および関東における乾田直播栽培
- 西日本に広がる水稻乾田直播栽培
- 多収水稻品種を活用した再生二期作技術
- 水田転換畑の大豆作(湿害対策技術と灌水技術)
- 大豆の新しい播種技術の開発と普及

申
込

二次元バーコード又は
下記URLよりお申込みください
期限:12月5日(金)17:00

<https://prd.form.naro.go.jp/form/pub/naro01/paddycr.kof2025a>



登壇者プロフィールなど詳しくは裏面をご覧ください

事務局 / 本部 企画戦略本部 セグメントⅡ理教室 古畑
事業開発部 地域連携課 竹内
問合せ窓口 / 本部 事業開発部 事業開発総括課 坪・山下
TEL: 029-838-6952
Mail: administration_section-hq@ml.affrc.go.jp

高収益水田輪作を実現する省カスマート技術パッケージの開発・導入

農研機構 本部 企画戦略本部 セグメントⅡ理事室 室長 古畑昌己

講演

招待講演

■ たまねぎの直播栽培技術

株式会社クボタ 農機国内本部

担い手戦略推進室 技術顧問 菊池 昌彦 氏



‘83年から青森県農業改良普及員(野菜主体)、青森県専門技術員(野菜及びいも類)、野菜関係の研究職員等を経験し、最終職は地方独立行政法人青森県産業技術センター野菜研究所 所長。’20年から(株)クボタ技術顧問(現職、主に東日本の露地野菜を担当)となる。

一般講演

■ 「にじのきらめき」および関東における乾田直播栽培

農研機構 中日本農業研究センター 研究推進部 非常勤顧問 塚本心一郎

■ 西日本に広がる水稻乾田直播栽培

農研機構 西日本農業研究センター 研究推進部 岡本 毅

■ 多収水稻品種を活用した再生二期作技術

農研機構 中日本農業研究センター 研究推進部 技術適用研究チーム 主席研究員 中野 洋

■ 水田転換畑の大豆作(湿害対策技術と灌水技術)

農研機構 東北農業研究センター 緩傾斜畑作研究領域 研究領域長 高橋智紀

■ 大豆の新しい播種技術の開発と普及

農研機構 九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域 スマート水田輪作グループ
上級研究員 松尾直樹

パネルディスカッション

株式会社 西部開発農産
受託部 部長

清水 一孝 氏



’74年福岡県北九州市生まれ。’99年に株式会社西部開発農産に入社。以降’23年まで中山間地で欧米型の大型機械化農業を展開し、国内最大級の約1,000ha超の農地を管理。最新のスマート農業技術の導入やJGAP認証を積極的に推進。’24年より受託部に異動し、地域農業の再構築に取り組んでいる。

株式会社 クローバー・ファーム
代表取締役

高橋 大希 氏



’83年東京都墨田区生まれ。非農家出身で、越谷保育専門学校卒業後、保育士として3年勤務。茨城県猿島郡境町の妻の実家にて後継者として就農。株式会社クローバー・ファームを設立し、夫婦、従業員と共に地域の農地を守っている。

有限会社 アシスト二十一
代表取締役

木村 清隆 氏



’80年新潟県新発田市生まれ。大学卒業後は建設業界に12年間従事。’16年「有限会社アシスト二十一」に脱サラ就農。’20年同社代表取締役に就任。’22年飼料生産組織「新発田コントラクター」を設立。乾田直播栽培をきっかけに水田活用の飼料作物栽培も進めている。

有限会社 フクハラファーム
取締役会長

福原 昭一 氏



父親の病死により、26歳で兼業農家となり米作りの面白さを発見。規模拡大に伴って、分散している農地の集約化に奔走。平坦な地域の強みを生かし、20年余り前から徹底して区画拡大に取り組み、現在240haを300筆余りに集約する一方、手間暇かけた有機JAS栽培も実践。理念は「美田悠久」。

モデレーター



農研機構本部 企画戦略本部
セグメントⅡ理事室 室長

古畑 昌己

’69年長野県下諏訪町生まれ。’95年東京農工大学大学院農学研究科を修了後、農研機構に入り博士(農学)を取得。九州沖縄農業研究センター、東北農業研究センターなどを経て、’25年から農研機構本部企画戦略本部セグメントⅡ理事室長。専門は作物学、栽培学(水稻直播)。